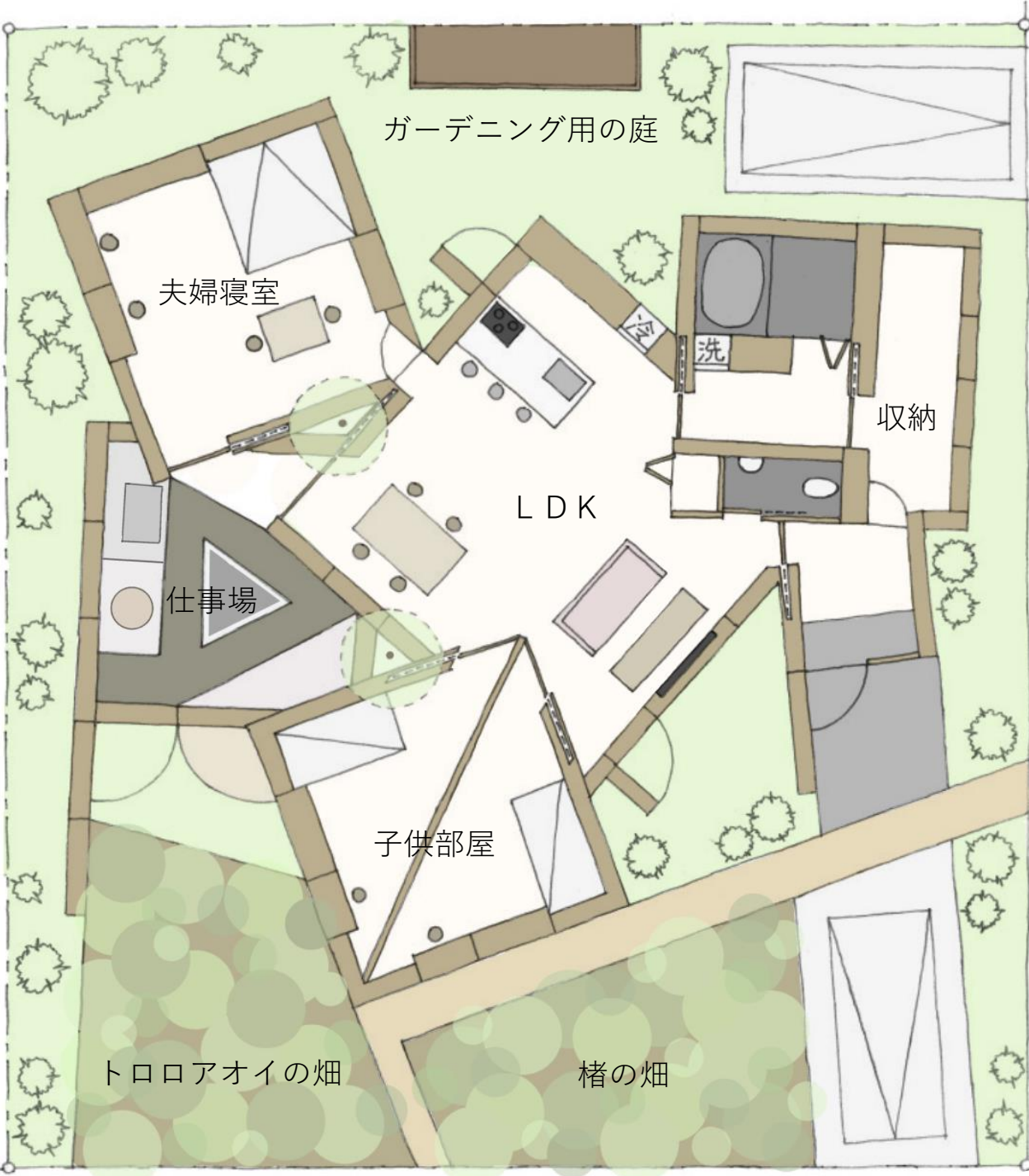


# Memorial House

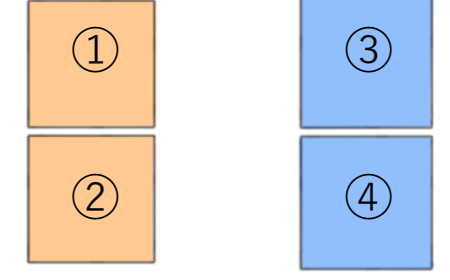


## ●コンセプト

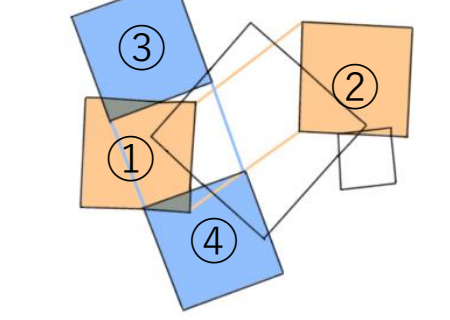
本来、建物は傷がつかないように大切にするもの。しかし、あえて建物に傷をつけることで家族の思い出や子供の成長記録などを残すことができる。時を重ねた傷は、傷ではなく家族のしるしとなり思い出になっていく。一方、近年富山県では、和紙職人の高齢化や後継者不足などにより伝統の衰退が問題となっている。富山が誇る和紙を後世へ残すため、思い出、伝統、空間を重ね、流れゆく時と共に生きる家を提案する。



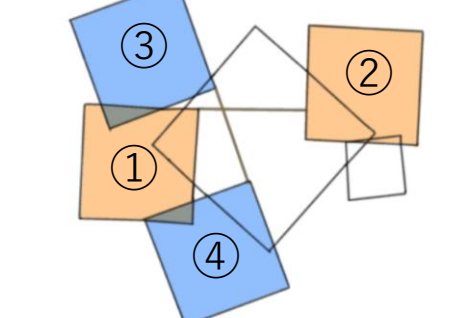
- ①仕事場と②サニタリー、③夫婦寝室と④子供部屋に分ける。



- ①と②、③と④を平行に配置。



- 和紙カーテンを①②、③④同士で繋ぐ。



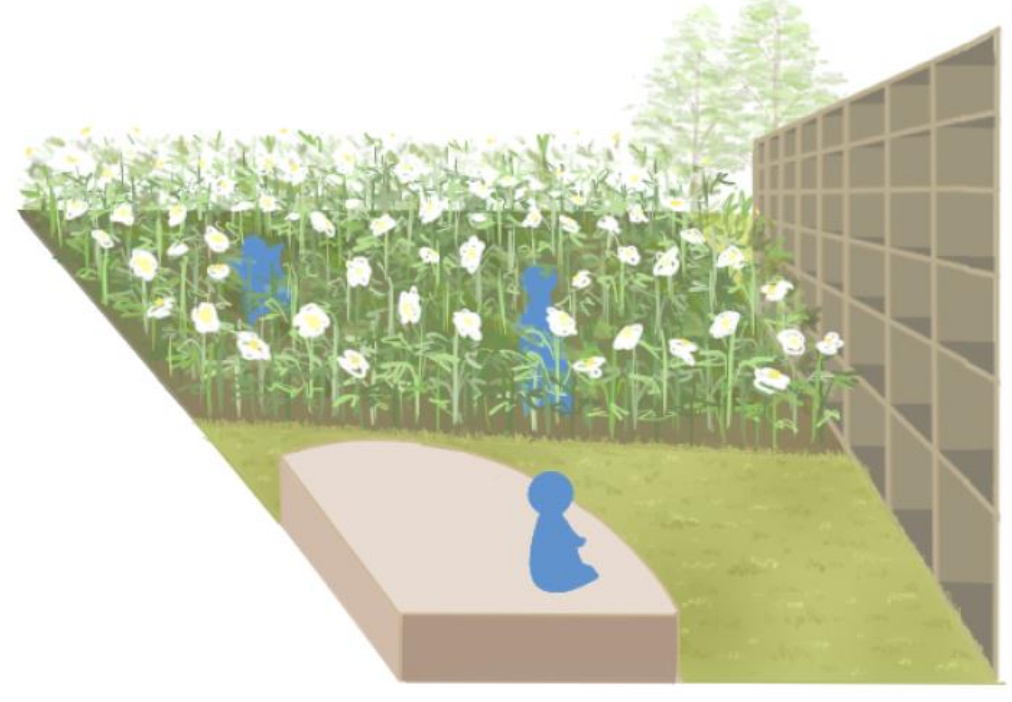
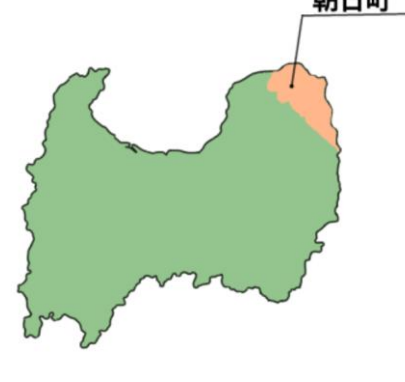
配置図兼1階平面図 S = 1 : 1 0 0

## ●家族構成

父(48) 蛭谷和紙職人 趣味:DIY 兄(8) 趣味:スポーツ  
母(42) 蛭谷和紙職人 趣味:ガーデニング 妹(5) 趣味:絵を描くこと

## ●蛭谷和紙について

敷地は蛭谷(びるだん)和紙の生産地、富山県朝日町。富山には、八尾和紙、五箇山和紙、蛭谷(びるだん)和紙という越中和紙がある。蛭谷和紙は、トロロアオイを原材料とし、栽培から紙漉きまで、すべて1人の職人の手で行われる。強靱かつ柔らかい紙質で、1000年以上保存できるほどの耐久性をもつ。

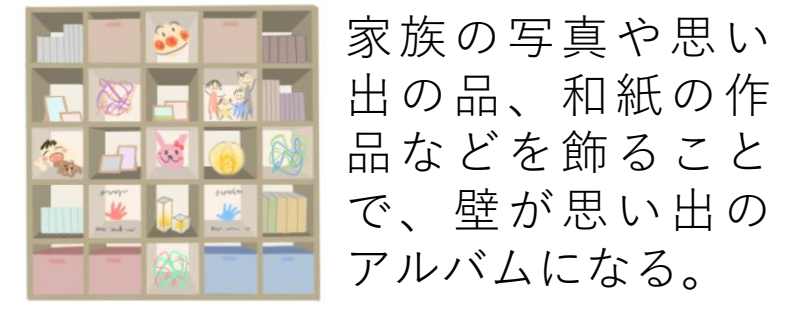


和紙の原材料であるトロロアオイの畑

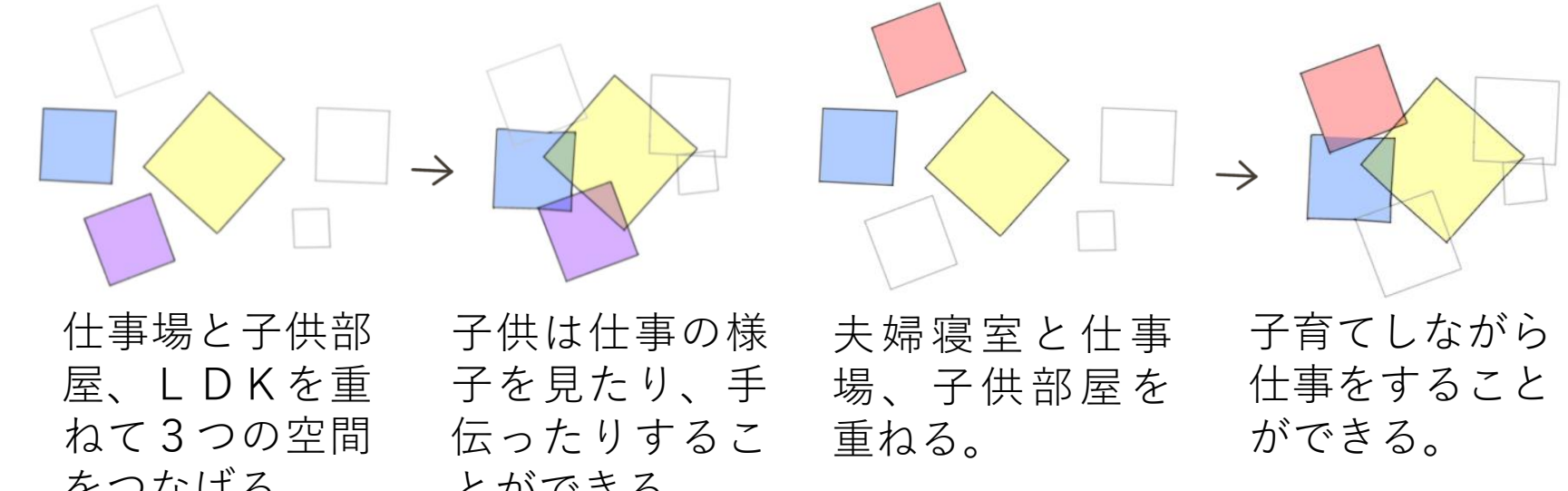
## ●3つの重なり

### 【思い出を重ねる】

木製の棚にあえて傷をつけることで、身長を記録したり、思い出も残すことができる。

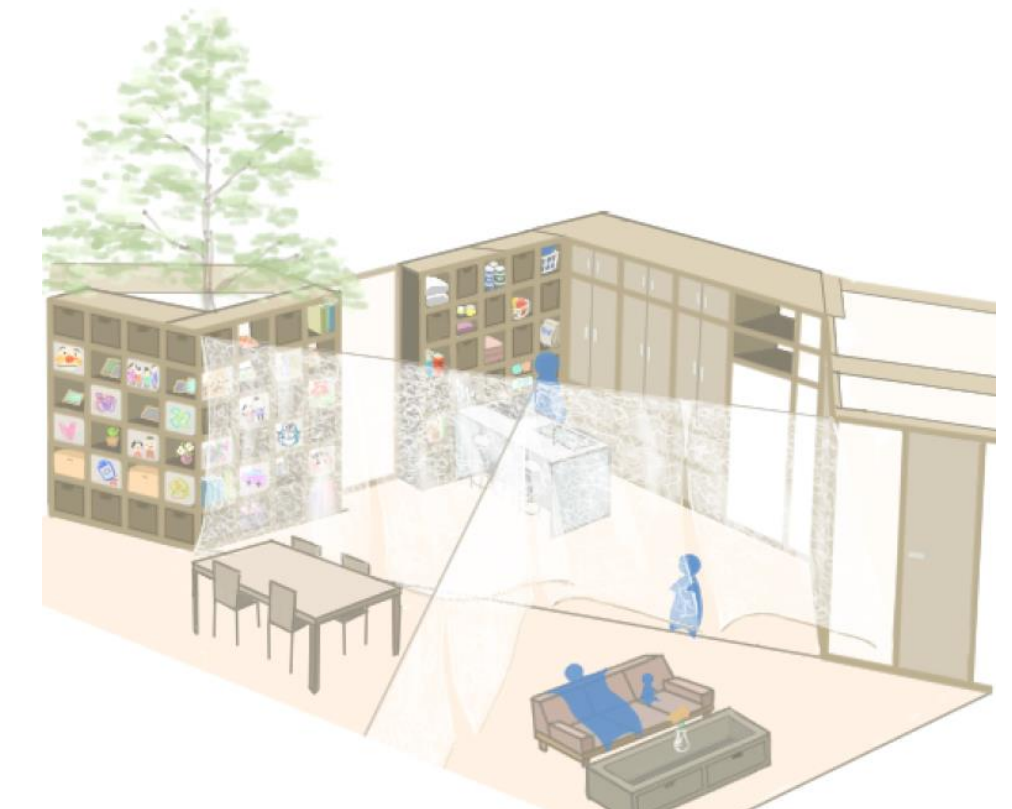


### 【空間を重ねる】

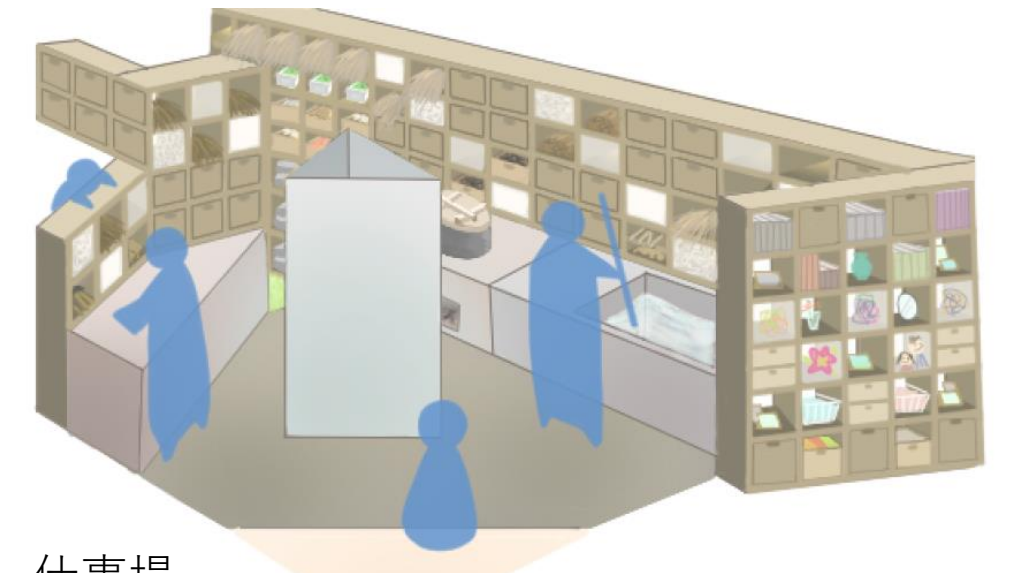


### 【和紙を重ねる】

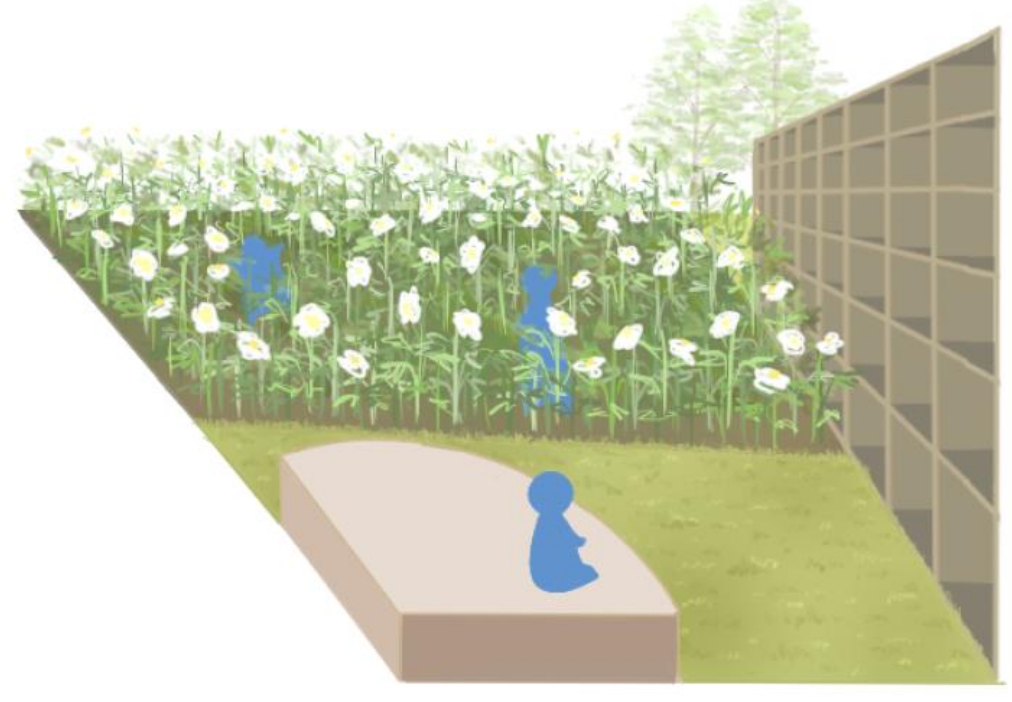
奥から、祖父が子供の時に描いた絵、父の絵、娘の絵と世代ごとの子供の絵が重なることで、新しい絵がみえてくる。和紙を重ねることで家族の時も重なる。



和紙カーテンで仕切られたLDK



仕事場



和紙の原材料であるトロロアオイの畑

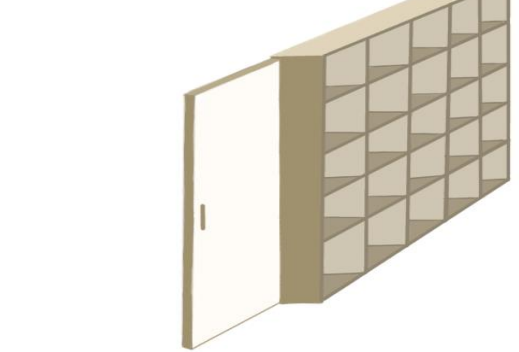


子供達のキャンパスになる和紙パーテーション

## ●面積表

敷地面積	323㎡
建築面積	142.84㎡
延床面積	142.84㎡

## ●障子棚



棚の後ろが和紙となっているため、そこから室内に太陽光を取り入れる。また、障子棚の後ろから和紙戸を引き出すことで空間を仕切ることができる。

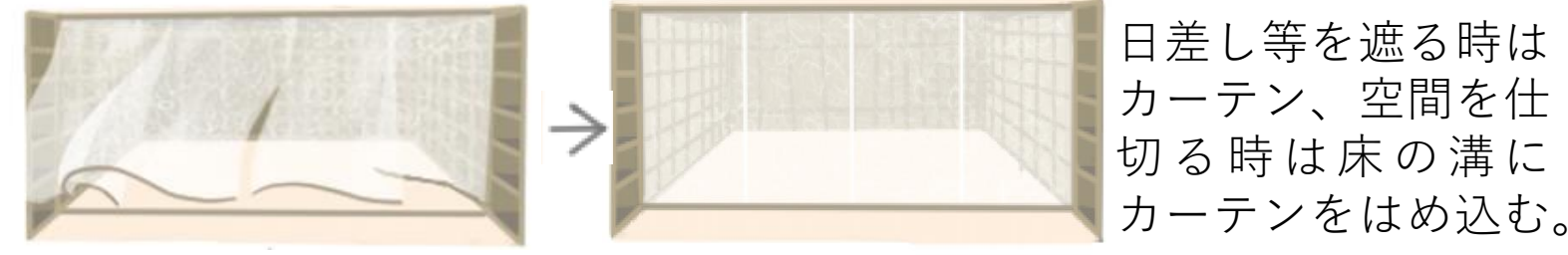
### 【思い出アルバムの作り方】



和紙に描かれた子どもの絵を簀桁(すいた)を模した枠組みににはめる。枠組みを障子棚にはめ込む。太陽光によって障子棚にはめ込んだ絵が床に映る。時間の移ろいによって変わる床のアルバムを楽しめる。

## ●和紙カーテン

### 【和紙カーテンを動かしてLDKを仕切る】

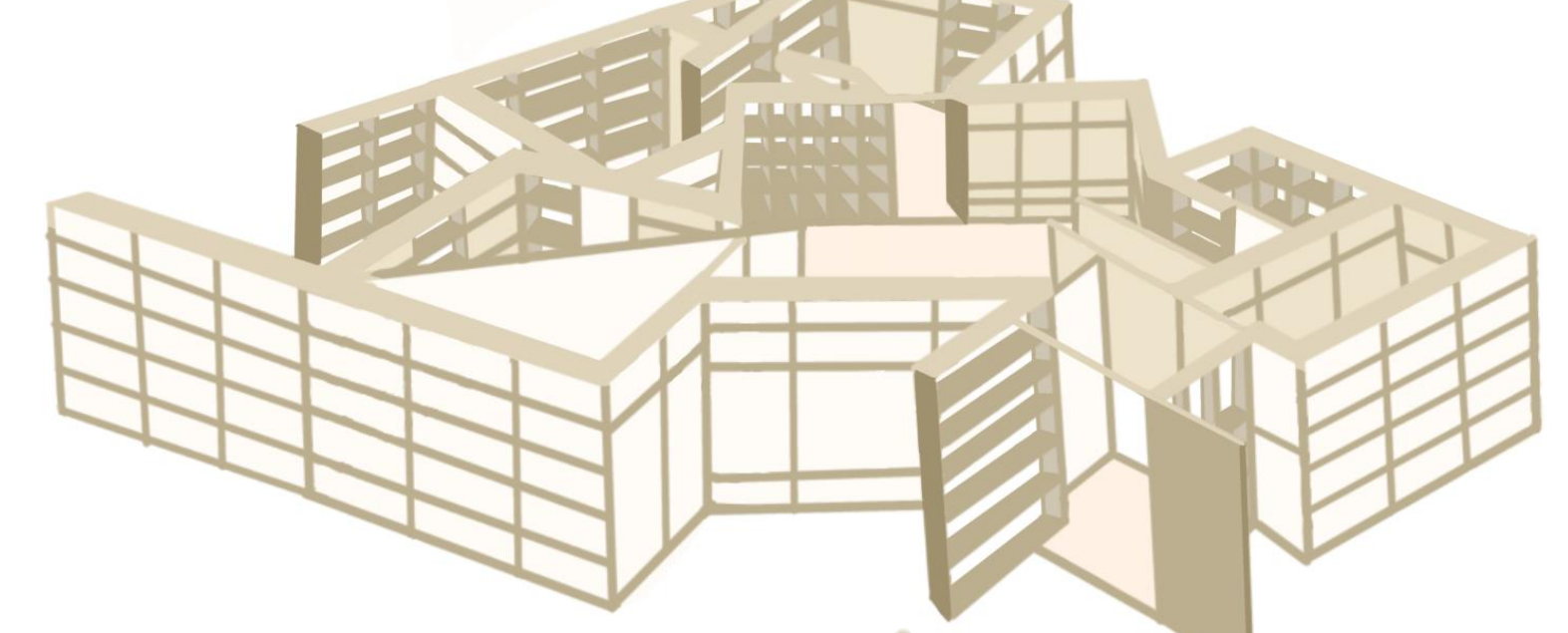


日差し等を遮る時はカーテン、空間を仕切る時は床の溝にカーテンをはめ込む。

## ●ライフステージの変化

【障子棚で部屋を増減する】  
障子棚を動かしたり増やしたりして、部屋数を変えたり空間を仕切ったりすることで長く住み続けることができる。

### 1世帯



### 2世帯



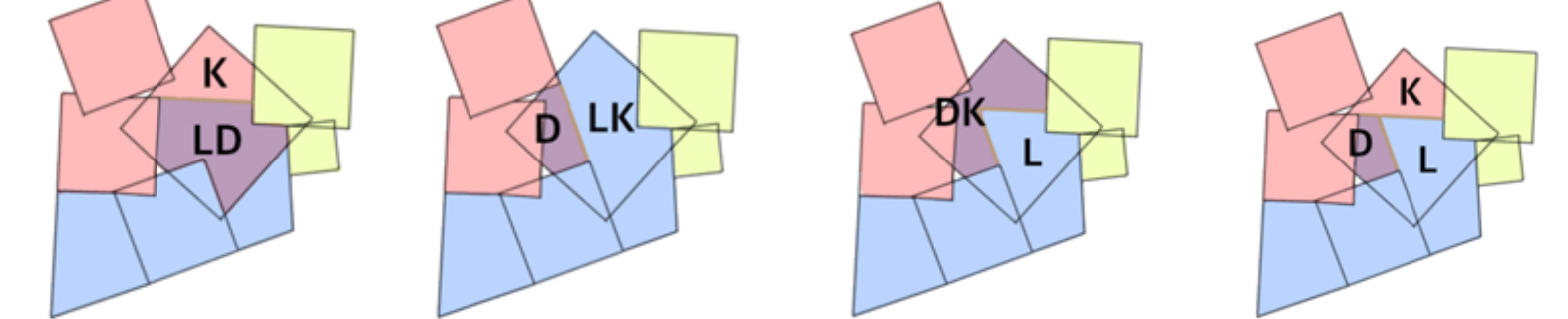
### 【和紙カーテンで間取りを変える】

#### 1世帯

来客などの目的に応じて、和紙カーテンで空間を仕切る。

#### 2世帯

老夫婦が主にKを使う 夫婦・子供が主にLKを使う 夫婦・子供が主にLを使う 老夫婦がK、夫婦・子供が主にLを使う



- ① 老夫婦
- ② 夫婦・子供
- ③ ①と②の共有スペース
- ④ 共有スペース